

馬の流死産が起きた場合の対処方法について

1 消毒について

馬が流死産した場合、原因を調べることも重要ですが、まず、最初に以下のことを速やかに実施しましょう。

- 後産や羊水、流産胎子には、伝染性のものでは細菌やウイルスが大量に含まれていますので、速やかに袋や密閉できるものに入れて、汚れた場所は消毒しましょう。
- 馬体は、消毒薬に浸したタオルで、汚れた部分を拭き取り、十分に消毒しましょう。
- 馬は必ず消毒後に隔離してください。
- 汚れた衣服、タオル、手袋、靴なども消毒が必要です。



パコマの場合だと500倍に薄めます



隔離馬房へ

馬体の消毒は逆性石けん（パコマ、ロンテクト、クリアキル等）で行いましょう

消毒薬に浸したタオルで汚れを拭き取りましょう

厩舎の消毒は塩素系（クレンテ、ビルコン等）や消石灰が有効です

フレコンバックなどに詰める



ジョウロなどで十分に散布しましょう



2 原因究明のための検査

流産が発生したら、速やかにかかりつけの獣医師に連絡し、家畜保健衛生所で検査を受けましょう。

- 検査する材料は、流産胎子、後産や悪露、血液などです。
- 検査材料を運ぶ際には、汚染を広げないため、できるだけ密閉しましょう。
- トラックの荷台など汚れた場所は、十分に消毒しましょう。

3 もし、馬パラチフスと診断されたら…



感染馬の速やかな隔離と汚染場所（馬房、通路、えさ桶などの器具）の消毒を徹底してください。



飼養している馬は、移動の自粛をお願いします。



同居している妊娠馬の健康状態を注意深く観察してください。



カラスやキツネなどの野生動物の厩舎への侵入を防止しましょう。



感染馬の抗菌剤による治療と同居している馬の血液抗体検査を行います。



菌がいなくなったことを確認するため、繰り返し培養検査と血液抗体検査を行います。

十勝管内家畜自衛防疫推進協議会

《問い合わせ先》

- 十勝農業協同組合連合会酪農畜産課
TEL：0155-24-2537
- 十勝家畜保健衛生所
TEL：0155-59-2021